

令和 5 年度学校評価報告書

令和 6 年 3 月 21 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道七飯高等学校長 閣下

次のとおり令和 5 年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

ア	カリキュラム・マネジメントの確実な履行と主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の実現に努め、思考力や判断力・表現力・創造力等の育成を図る。
イ	予防的開発的な教育相談と生徒情報の共有の充実を通して生徒理解の深化に努め、生徒一人一人に寄り添い、自律心や敬愛の心の育成を図る。
ウ	探究活動の充実に努め、自ら課題や進路目標を設定し、解決や実現に向けて努力を継続する力の育成を図る。
エ	体験的学習活動の充実に努め、自他の生命を尊重し他者を慮り協調する態度の育成及び健康で安全な生活習慣の確立を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・新学習指導要領に沿った観点別評価について、研修も深まり実際の運用面でもねらいに沿ってスムーズに進めることができた。 ・自主的な学習態度の確立については課題がみられた。	・探究活動等で地域での活動は大変よかった。今後も続けていただきたい。 ・新カリの移行がスムーズに行われている。 ・今後も学力向上に期待する。
改善方策	・総合的な探究の時間を中心に、本校の柱である国際教育や環境教育での探究型の学びを取り入れるなど、七飯高校生の実態に合ったカリキュラム編成をさらに進める。 ・指導と評価の一体化に向けて、授業評価を取り入れるなど、授業改善の取組を進める。	
生徒指導	・基本的生活習慣の確立を図るための指導を朝厳寒指導や身だしなみ点検等を中心に計画的に実施することができた。 ・不登校傾向の生徒や特別な支援が必要な生徒が多くなってきており、教育相談の充実と適応教室の整備が課題である。	・非行事故が減ってきており、今後もマナー指導、SNSのルール指導やいじめ防止の指導をお願いしたい。 ・様々なタイプの生徒が在籍している現状を鑑み、相談体制の充実や、柔軟に対応できる仕組みを作り上げてもらいたい。
改善方策	・基本的生活習慣の確立について、次年度も継続して質の向上も含め指導を実施する。 ・教育相談や特別支援などの体制をさらに充実させ、個別の対応体制を構築する。 ・いじめ防止の取組を継続させ、非行事故に発展する前に対応できる体制を作り上げる。	
進路指導	・学年との連携を深め、進学・就職ともに良好な結果となった。 ・より高い目標をめざし、進路実現に向けて努力する意欲を育てていくキャリア教育が重要である。	・国公立合格者を出すなど、概ね生徒の希望進路が達成されていると思う。 ・地域を支える人材を育てるため、引き続き就職指導に力を入れていただきたい。
改善方策	・生徒の希望進路の決定を目指し、今後もガイダンス機能を充実させ、一人一人の進路に合った指導を展開していく。 ・総合的な探究の時間は、将来のキャリアに通じるものとして、地域の企業や人材をさらに活用するなど、さらなる充実をめざし取り組む。	
公表方法	・学校ホームページに掲載	

3 添付資料

- (1) 令和 5 年度(2023年度)学校評価（保護者アンケート）結果
- (2) 令和 5 年度(2023年度)学校評価（教職員自己評価）結果